



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社

コード番号 7022 URL <http://www.sanovas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 多田 勤

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,601	△28.3	912	△73.2	788	△77.6	△340	—
25年3月期第2四半期	31,544	—	3,402	—	3,515	—	1,682	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 211百万円 (△84.4%) 25年3月期第2四半期 1,357百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△10.45	—
25年3月期第2四半期	51.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	66,696	16,241	23.0
25年3月期	69,454	16,193	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,371百万円 25年3月期 15,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△20.4	1,100	△75.0	800	△81.7	100	△76.6	3.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Sanoyas Rides Australia Pty Ltd 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	32,600,000 株	25年3月期	32,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	22,425 株	25年3月期	22,365 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	32,577,626 株	25年3月期2Q	32,577,636 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 事業等のリスク	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
販売及び受注の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済政策及び金融政策に伴い円高の是正が進むとともに、個人消費や設備投資等各種経済指標が好転する等景気は緩やかな回復傾向となりましたが、一方で新興国経済の減速懸念や米国の財政問題の帰趨懸念等が台頭しつつあり、予断を許さない状況となっています。

当社グループを取り巻く事業環境は、造船事業では主にバルクキャリアーの海運マーケットが改善傾向となる中で船主の発注意欲が高まりましたが、船腹の需給ギャップは尚大きく船価は低水準の儘推移する等厳しい状況が続きました。斯かる状況下市場ニーズに即したトップクラスの省エネ性能を誇る60千重量トン型「スプラマックス」バルクキャリアーを開発し、受注及び内定を果たすとともに、既存船型の省エネ改善も実行し、更に市場ニーズに応えるべくポストパナマックス・バルクキャリアーの開発にも着手しました。別途、船舶技術力の向上に資するため、国内造船会社4社等で設立された共同技術研究会社である株式会社マリタイムイノベーションジャパンに参画し本格的な活動を推進しました。

陸上事業及びレジャー事業では民間設備投資の増加傾向に的確に対応し積極的な受注活動に努めるとともに、顧客ニーズに即した新商品の開発にも努めました。両事業は当社グループの「第2のコア事業」として収益拡大を経営目標に掲げていますが、当該収益拡大策の一環として、この度オーストラリア・メルボルン市における南半球最大の観覧車施設を取得、運営することを決定し契約調印を実行しました(10月10日に決済を完了しております)。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は建造隻数の減少もあり前年同四半期比8,942百万円減少の22,601百万円となり、営業利益は前年同四半期比2,490百万円減少の912百万円、経常利益は前年同四半期比2,726百万円減少の788百万円となりました。四半期純損益は借地返還に伴う土壤改良費用の増加及び繰延税金資産の一部取崩し等により前年同四半期比2,022百万円減少し340百万円の純損失となりました。

なお、当社グループは受注産業の事業の特性から、四半期業績が年度決算に必ずしも連動いたしません。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①造船事業

造船事業における事業環境は厳しい状況が続いていますが、省エネ型バルクキャリアーに対する需要の高まりつつある状況と、2年半から3年程度の受注残高を確保する方針のもとに営業活動に努めた結果、82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアー及び新規開発した60千重量トン型スプラマックス・バルクキャリアー等4隻の受注と1隻の内定を確保いたしました。その結果当第2四半期連結会計期間末の受注残高は59,931百万円となりました(内定分は含んでおりません)。新造船の引渡しは、78千重量トン型及び83千重量トン型パナマックス・バルクキャリアー等計3隻であり、修繕船等を加えた当該事業の売上高はリーマンショック後に受注した新造船が売上計上となったこと及び建造隻数の減少等により前年同四半期比7,128百万円減少の16,789百万円となり、連れて営業利益は受注工事損失引当金の計上も加わり前年同四半期比2,028百万円減少の1,454百万円となりました。

②陸上事業

陸上事業においては顧客ニーズに対応した積極的な受注活動に努め、化粧品製造用機械製造をはじめ各事業とも着実な受注残高の増加を果たした結果、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は2,815百万円となりました。売上高は化粧品製造用機械や環境工事等が前年に比し大口案件の計上がなかったこと等から前年同四半期比1,568百万円減少の3,758百万円となりました。連れて営業利益は前年同四半期比494百万円減少の51百万円となりました。

③レジャー事業

レジャー事業においても遊園地ニーズに対応した営業活動に努め、観覧車等の受注により当第2四半期連結会計期間末の受注残高は660百万円となりました。売上高は一部遊園地の遊具を遊園地オーナーに売却したこと等から前年同四半期比235百万円減少の1,915百万円となりました。営業損益はメルボルン観覧車の補修費用が悪天候の連続から工事期間が延びることが見込まれるため、保証工事引当金を403百万円追加計上したこと等から298百万円の営業損失となりました(前年同四半期は367百万円の営業損失)。

④その他の事業

ソフト開発等を行うその他の事業においては新規システムの開発、営業に注力しましたが、厳しいシステム投資環境から売上高は前年同四半期比9百万円減少の137百万円となり、営業損益も16百万円の営業損失となりました(前年同四半期は3百万円の営業損失)。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて3,391百万円減少し、43,699百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5,128百万円増加したものの、現金及び預金が6,965百万円、繰延税金資産が587百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて633百万円増加し、22,997百万円となりました。これは主に、投資有価証券が847百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて4,294百万円減少し、26,969百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,584百万円、前受金が1,074百万円、保証工事引当金が663百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,488百万円増加し、23,484百万円となりました。これは主に、長期借入金が974百万円、繰延税金負債が451百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて48百万円増加し、16,241百万円となりました。これは主に、利益剰余金が503百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が608百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ7,175百万円減少し、18,963百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,642百万円の支出となりました。主な減少は、売上債権の増加5,082百万円、仕入債務の減少2,459百万円、前受金の減少1,074百万円、保証工事引当金の減少663百万円であり、一方、主な増加は、減価償却費994百万円、税金等調整前四半期純利益684百万円、受注工事損失引当金の増加677百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、778百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出961百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、270百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金及び長期借入金の調達をしたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては新造船市況および為替状況等を踏まえ、売上高470億円、営業利益11億円、経常利益8億円、当期純利益1億円を見込んでおります。

(4) 事業等のリスク

平成25年3月期決算短信6ページに記載の『「事業等のリスク」6)製品の保証について』において、メルボルン観覧車に対する保証工事について発注主からの損害賠償請求等発生のある可能性がある旨言及していましたが、同施設および事業の取得と同時に発注主等との間で当該請求権の放棄を内容とする契約を締結したため、当該リスクは解消しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、Sanoyas Rides Australia Pty Ltdを設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,712	20,746
受取手形及び売掛金	14,821	19,950
商品及び製品	159	146
仕掛品	1,069	1,211
原材料及び貯蔵品	549	571
繰延税金資産	694	107
その他	2,103	990
貸倒引当金	△19	△24
流動資産合計	47,090	43,699
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	3,568	3,472
土地	5,060	5,047
その他(純額)	7,530	7,709
有形固定資産合計	16,160	16,229
無形固定資産		
ソフトウェア	587	510
その他	48	48
無形固定資産合計	636	559
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	5,159
長期貸付金	93	92
繰延税金資産	230	220
その他	1,178	934
貸倒引当金	△246	△199
投資その他の資産合計	5,567	6,208
固定資産合計	22,363	22,997
資産合計	69,454	66,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,388	7,803
短期借入金	7,054	6,671
1年内償還予定の社債	30	30
未払法人税等	886	335
前受金	7,210	6,136
賞与引当金	420	421
保証工事引当金	1,903	1,240
受注工事損失引当金	2,051	2,729
その他	1,318	1,600
流動負債合計	31,264	26,969
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	15,241	16,215
退職給付引当金	4,241	4,227
役員退職慰労引当金	95	—
資産除去債務	450	418
繰延税金負債	1,730	2,181
負ののれん	58	48
その他	147	377
固定負債合計	21,996	23,484
負債合計	53,260	50,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	727	727
利益剰余金	10,999	10,495
自己株式	△5	△5
株主資本合計	14,259	13,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,068	1,676
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	—	△63
その他の包括利益累計額合計	1,066	1,615
少数株主持分	867	870
純資産合計	16,193	16,241
負債純資産合計	69,454	66,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	31,544	22,601
売上原価	26,058	19,422
売上総利益	5,485	3,179
販売費及び一般管理費	2,082	2,266
営業利益	3,402	912
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	35	32
貸倒引当金戻入額	156	14
未払事業所税戻入益	58	—
持分法による投資利益	—	31
その他	66	60
営業外収益合計	322	149
営業外費用		
支払利息	163	166
その他	46	106
営業外費用合計	209	273
経常利益	3,515	788
特別利益		
固定資産売却益	4	65
特別利益合計	4	65
特別損失		
減損損失	16	147
投資有価証券評価損	121	—
固定資産売却損	0	20
固定資産除却損	14	1
その他	1	—
特別損失合計	153	169
税金等調整前四半期純利益	3,365	684
法人税、住民税及び事業税	1,662	312
法人税等調整額	9	716
法人税等合計	1,672	1,028
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,693	△344
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,682	△340

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,693	△344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△335	614
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	—	△63
その他の包括利益合計	△335	555
四半期包括利益	1,357	211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	208
少数株主に係る四半期包括利益	9	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,365	684
減価償却費	1,116	994
減損損失	16	147
負ののれん償却額	△10	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6	△14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△95
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△154	△41
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	1
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	△373	△663
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	23	677
受取利息及び受取配当金	△40	△42
支払利息	163	166
為替差損益 (△は益)	15	74
持分法適用会社への未実現利益調整額	418	△9
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4	△45
有形固定資産除却損	14	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△9
投資有価証券評価損益 (△は益)	121	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,555	△5,082
たな卸資産の増減額 (△は増加)	304	△151
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,712	△2,459
前受金の増減額 (△は減少)	△3,137	△1,074
未収消費税等の増減額 (△は増加)	778	440
その他	△191	183
小計	2,255	△6,328
利息及び配当金の受取額	40	42
利息の支払額	△165	△170
法人税等の支払額	△2,520	△186
営業活動によるキャッシュ・フロー	△389	△6,642

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△622	△532
定期預金の払戻による収入	422	322
有形固定資産の取得による支出	△684	△961
有形固定資産の売却による収入	10	101
投資有価証券の取得による支出	△13	△7
投資有価証券の売却による収入	—	114
貸付けによる支出	△130	△0
貸付金の回収による収入	22	1
出資金の回収による収入	—	260
その他	△104	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,100	△778
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	63	641
長期借入れによる収入	1,050	2,350
長期借入金の返済による支出	△947	△2,520
社債の償還による支出	△15	△15
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△162	△162
その他	△1	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	270
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,519	△7,175
現金及び現金同等物の期首残高	24,007	26,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,488	18,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,918	5,327	2,151	31,396	147	31,544	—	31,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	9	2	18	101	119	△119	—
計	23,925	5,336	2,153	31,415	248	31,663	△119	31,544
セグメント利益又は損失(△)	3,483	545	△367	3,661	△3	3,657	△255	3,402

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額255百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用259百万円、貸倒引当金の調整額△1百万円及びセグメント間取引消去△3百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,789	3,758	1,915	22,463	137	22,601	—	22,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	0	—	4	82	87	△87	—
計	16,793	3,759	1,915	22,468	220	22,688	△87	22,601
セグメント利益又は損失(△)	1,454	51	△298	1,207	△16	1,190	△278	912

- (注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額278百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用281百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円及びセグメント間取引消去△3百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
造船事業	23,918	75.8	16,789	74.3
陸上事業	5,327	16.9	3,758	16.6
レジャー事業	2,151	6.8	1,915	8.5
その他の事業	147	0.5	137	0.6
合計	31,544	100.0	22,601	100.0

受注状況ならびに受注残高

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
造船事業	1,683	65,283	13,962	59,931
陸上事業	2,507	1,939	3,723	2,815
レジャー事業	251	293	966	660
その他の事業	175	71	171	41
合計	4,618	67,588	18,822	63,448

(注) 当第2四半期連結会計期間末の造船事業における新造船の受注残高金額は工事進行基準で記載しており、受注残高隻数は、引渡しベースで21隻であります。